

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話合ってみましょう。



南区

さいたま市防災カルテ

①区の概況と課題

◆区の概要

- 【位置】さいたま市の南端に位置し、戸田市・蕨市に隣接。
- 【地形】東部を中心に屋敷林、社寺林や斜面林が点在。
- 【土地利用】都市型住宅と商業、業務機能の集積を目指して大規模な市街地再開発事業を実施中。
- 【交通】JR埼京線・京浜東北線・武蔵野線が走り、国道17号などが走る。

◆全体図



◆防災関連施設情報(区内施設数) (平成26年2月時点)

避難場所	31ヶ所	消防署・出張所	2ヶ所	市役所・区役所	3ヶ所
一時避難場所	4ヶ所	警察署・交番	4ヶ所	支所・市民の窓口	
広域避難場所	0ヶ所	救急病院	1ヶ所	応急給水場所	12ヶ所

◆区内被害想定結果

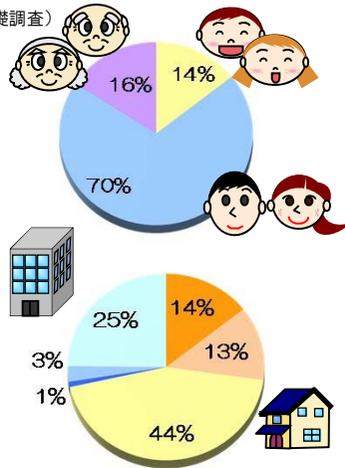
地震	さいたま市直下地震	関東平野北西縁断層帯地震	東京湾北部地震			
最大震度	6強 (6.3)	6弱 (5.8)	6強 (6.2)			
最小震度	6弱 (5.9)	5強 (5.4)	5強 (5.4)			
死者	240人	12人	48人			
負傷者	990人	179人	415人			
避難者	35,686人	2,362人	9,992人			
全壊建物棟数	7,773棟	447棟	1,837棟			
うち焼失棟数	4,602棟	294棟	975棟			
半壊建物棟数	7,425棟	1,956棟	5,179棟			
水害	荒川	利根川	江戸川	芝川等	綾瀬川等	鴨川等
床上浸水建物棟数	17,085棟	0棟	0棟	712棟	0棟	5,666棟
床下浸水建物棟数	1,973棟	0棟	0棟	2,183棟	0棟	3,219棟

◆区内人口・建物概況

(人口:平成22年国勢調査)
(建物:平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

人口等	人口	割合
総人口	174,988人	
0-14歳	25,008人	(14%)
15-64歳	122,300人	(70%)
65歳以上	27,680人	(16%)
人口密度	12,561人/km ²	
世帯数	74,885世帯	

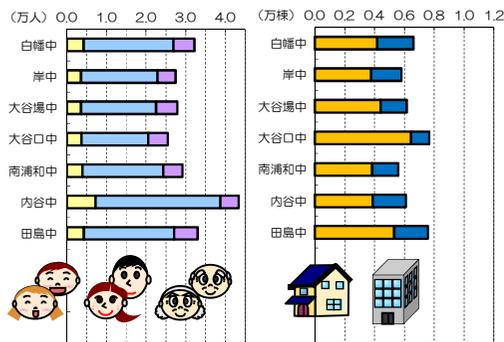
建物	建物棟数	割合
総建物棟数	35,860棟	
木造(昭和46年以前)	5,142棟	(14%)
木造(昭和47-55年)	4,626棟	(13%)
木造(昭和56年以後)	15,893棟	(44%)
非木造(昭和46年以前)	323棟	(1%)
非木造(昭和47-55年)	959棟	(3%)
非木造(昭和56年以後)	8,917棟	(25%)



◆学区別人口・建物概況

(人口:平成22年国勢調査)
(建物:平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

学校区名	人口	建物棟数
白幡中学校区	32,193人	6,606棟
岸中学校区	27,434人	5,803棟
大谷場中学校区	27,901人	6,161棟
大谷口中学校区	25,475人	7,666棟
南浦和中学校区	29,171人	5,597棟
内谷中学校区	43,408人	6,106棟
田島中学校区	33,020人	7,569棟



◆さいたま市直下地震と荒川水害の被害想定結果

地震	白幡中学校区	岸中学校区	大谷場中学校区	大谷口中学校区	南浦和中学校区	内谷中学校区	田島中学校区
最大震度	6強 (6.3)						
最小震度	6強 (6.0)	6強 (6.0)	6強 (6.0)	6弱 (5.9)	6強 (6.0)	6強 (6.1)	6強 (6.1)
死者(人)	71	105	51	44	26	30	48
負傷者(人)	222	235	175	166	154	179	250
避難者(人)	6,145	7,386	7,629	6,167	5,378	6,380	7,181
全壊建物棟数(棟)	1,361	1,987	2,037	1,826	978	828	1,622
うち焼失棟数(棟)	816	1,520	1,537	1,334	428	202	677
半壊建物棟数(棟)	1,190	1,016	1,123	1,327	1,214	1,495	2,135
水害	白幡中学校区	岸中学校区	大谷場中学校区	大谷口中学校区	南浦和中学校区	内谷中学校区	田島中学校区
床上浸水建物棟数(棟)	1,258	834	284	0	5,436	6,106	7,544
床下浸水建物棟数(棟)	923	144	117	628	161	0	0

◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

- 【耐震化】多くの建物被害が想定されているため、**耐震化率の向上が必要。**
- 【水害】水害(荒川・藤右衛門川・鴻沼川等)の危険性が高い地区となっており、迅速な情報伝達体制や、自主防災組織等による**安全な避難体制の構築が必要。**
- 【避難】水害時における**避難場所・避難ルート**の確立が必要。
- 【帰宅困難】武蔵浦和駅・南浦和駅周辺において、**帰宅困難者の発生・滞留**が想定される。

本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話合ってみましょう。

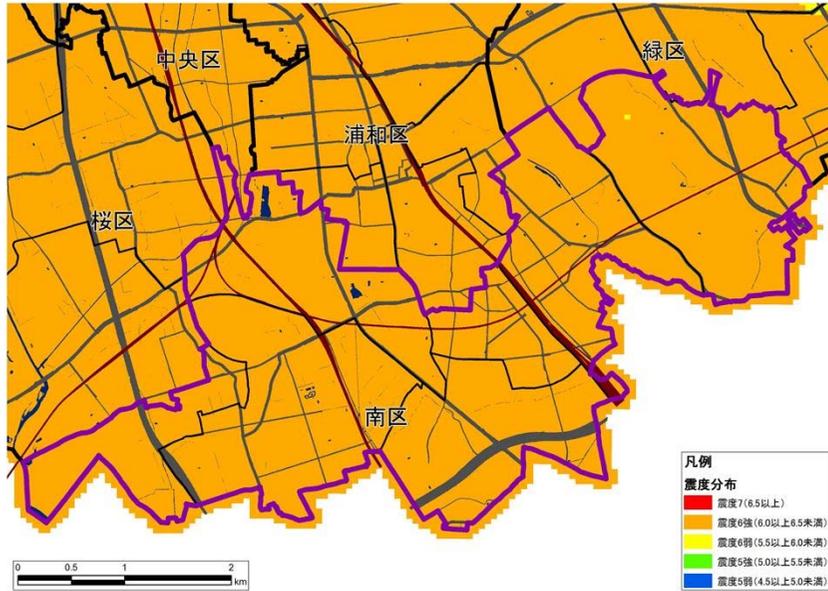
②さいたま市直下地震の想定

さいたま市防災カルテ

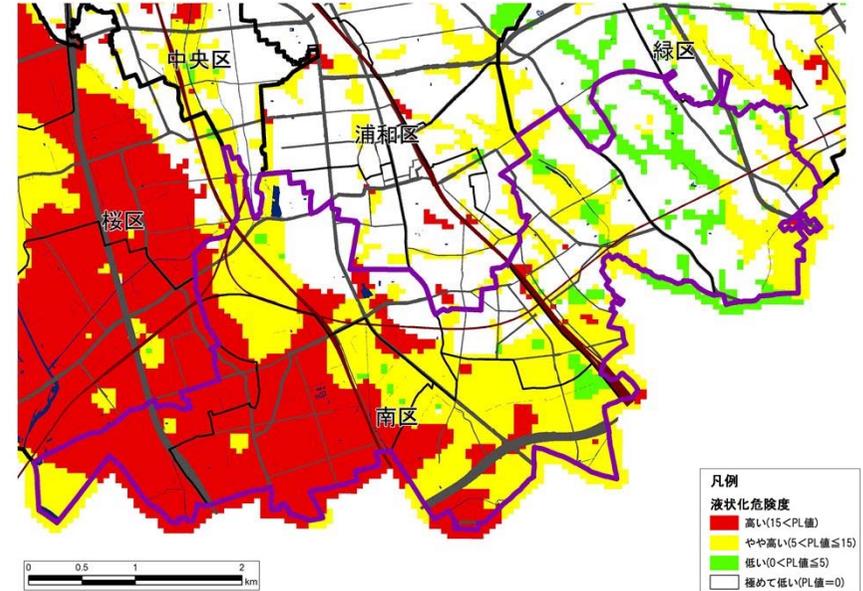
南区



震度分布図



液状化危険度分布図



建物被害分布図（揺れによる被害）



建物被害分布図（火災延焼による被害）

